

こうして不安をなくする

隣接の強みを生かした「小・中連携」を通して



鹿児島市立吉野東中学校.....

本校では、隣接する吉野東小学校と平成26・27年度の2年間にわたり「小・中連携」についての研究をしてきました。中1ギャップの解消を目指して、「隣接している一小一中」という強みを生かした共通実践できる活動を工夫してみました。

◆あいさつ運動の実施

両校で毎朝実施しているあいさつ運動を各学期2回程度、あいさつの活動場所を入れ替えて実施しました。小学生は中学生を、中学生は小学生をあいさつで迎えることで親近感が増しました。

◆委員会活動等での交流

小・中学校での図書委員会による読書郵便をお

互い交換しました。届いた郵便はそれぞれの図書室に掲示しました。また、中1と小5でビブリオバトル交流も行いました。

◆学校の行事等での交流

総合的な学習の時間の研究発表や絵画等の作品を小学校に展示したり、運動会で陸上部によるリレーのバトンパスの模範実技をしたりしました。

授業研究等を通じた交流では、両校同一テーマ「豊かに表現できる児童生徒の育成」で、乗り入れ授業や小・中合同での授業参観、授業研究等を行い、9年間を見通した指導・連携のあり方について研究し、成果を公開しました。

アンケートで91%の児

童が中学入学を楽しみにしている一方で、不安もあると51%の児童が答えました。これからも、子どもの不安を取り除き、楽しい充実した中学

校生活が送れるように、さらに小中学校での連携を深めていきたいです。

(教諭 久保 昭仁)



小学生による中学校校門でのあいさつ運動